

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年 7月10日更新

事務事業名		結核予防事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	福祉の健康			所属部	健康福祉部	課長名	齋藤 和広
	施策	5	健康づくりの推進			所属課	健康づくり推進課	担当者名	大湾 夢乃
	施策の柱	20	病気の早期発見			所属班	健康推進班	(内線)	1636
予算科目	会計一般	款 4	項 1	目 2	事業連番 10366	根拠法令	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律	成果優先度評価結果	②
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 29年度で終了 <input type="checkbox"/> 29年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	65歳以上の市民を対象に、がん複合検診会場、菊池広域保健センター、各地域のコミュニティを会場として胸部レントゲン検診を実施し、結核を早期に発見する事業である。委託料は、1件あたり1,688円。健診時期は、6月～8月、11月(菊池養生園)、9～10月(がん検診同時実施・コミュニティ巡回)で実施した。平成17年度から結核予防法の改正があり、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律により、65歳以上の市民が対象になった。
【業務の流れ】	①菊池広域保健センター菊池養生園と委託契約の締結 ②対象者特定のための電算処理 ③各会場の会場借用(公民館の場合は、区長または管理人に場所用依頼文書を区長便または郵便にて送付) ④対象者へ通知発送 ⑤通知不要者の入力 ⑥健診結果発送 ⑦要精密検査者への受診勧奨 ⑧請求支払い事務
【主な予算費目】	役務費、委託料
【意見や要望】	健診車の巡回があると家の近所で健診を受けられるので助かる。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動)(DO)	65歳以上の市民を対象に、菊池広域保健センター、がん複合検診会場、各コミュニティを健診車で巡回して胸部レントゲン撮影を実施した。受診者数:2,045人 29年度は熊本地震の影響で野々島公民館が工事中だったため、近隣施設の敷地を借用した。	30年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 菊池養生園・がん検診と同時・各コミュニティの巡回にて結核健診を実施。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)人 →ア:受診者数 イ:	予算の主な増減の理由 健診受診者の減少に伴う委託料の減
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	65歳以上の人で、医療機関等でレントゲン撮影をする機会のない人	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)人 →ア:65歳以上の市民 イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	健診を受診することにより、結核を早期に発見し、早期治療を受けることができる。	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)% →ア:要精密者の受診率 イ:結核の発見者数
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠 健診を受診し、結核の発見者数と要精密者の受診率が向上することで結核感染者が発見できる。		総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	27年度 実績(決算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	31年度 予定	32年度 見込	33年度 見込	
① 活動指標	ア	人	2,372	2,210	2,600	2,045	2,600	2,600	2,600	2,600	
	イ										
② 対象指標	ア	人	7,135	7,724	7,800	8,043	7,900	7,900	7,900	7,900	
	イ										
③ 成果指標	ア	%	80	76	100	87.5	100	100	100	100	
	イ	人	0	0	0	0	0	0	0	0	
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A)事業費計	一般財源	千円	4,415	4,153	4,930	3,945	4,271	4,930	4,930	4,930
		(A)のうち指定経費	千円	4,415	4,153	4,930	3,945	4,271	4,930	4,930	4,930
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	3	4	2	4	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	112	710	150	480	150	150	150	150
(B)人件費計	千円	415	0	597	1,898	597	597	597	597		
トータルコスト(A)+(B)	千円	4,830	4,153	5,527	5,843	4,868	5,527	5,527	5,527		

事務事業名	結核予防事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	--------	-----	-------	-----	----------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 受診率達成していない。100%を目標に呼びかけていく。
	②30年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 結核の危険性や健診受診の必要性について周知をしていくことで受診率の向上を図り、健診受診率や精密検査受診率向上の目標を達成できると考える。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 健診案内通知の改善など、周知方法を検討することで受診率の増加を図る。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の事業費を充てているため。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の人件費で対応しているため。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 結核になる確率が高く、健診を受ける必要のある年度末年齢65歳以上の市民においては健診費用の負担はなく、それ以外の年齢の方で結核健診を希望する市民には、自己負担で健診の機会が確保されているため公平・公正である。
	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 健診実施には専門的技術・知識を必要とするため、委託にて対応しており、役割分担は適正である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

健診の機会があることで、早期発見・早期治療、結核の集団発生予防にもつながる。結核や結核予防についての周知に努め、受診率や精密検査受診率の向上を図る。
--

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案) ・ ・ ・ 複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						